



平成30年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年6月14日

上場会社名 株式会社オハラ 上場取引所 東  
 コード番号 5218 URL http://www.ohara-inc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 齋藤 弘和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 中島 隆 (TEL) 042(772)2101  
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第2四半期の連結業績 (平成29年11月1日～平成30年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第2四半期	13,077	13.9	1,331	250.8	1,475	124.9	1,438	188.6
29年10月期第2四半期	11,483	7.4	379	345.5	655	—	498	—

(注) 包括利益 30年10月期第2四半期 2,673百万円 (24.6%) 29年10月期第2四半期 2,145百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第2四半期	59.15	—
29年10月期第2四半期	20.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第2四半期	56,746	43,390	76.5
29年10月期	54,433	41,204	75.7

(参考) 自己資本 30年10月期第2四半期 43,390百万円 29年10月期 41,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年10月期	—	0.00	—	—	—
30年10月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年10月期の連結業績予想 (平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,200	6.4	2,700	57.4	2,900	29.3	2,400	58.6	98.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社、除外 - 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年10月期2Q	25,450,000株	29年10月期	25,450,000株
30年10月期2Q	1,124,538株	29年10月期	1,124,538株
30年10月期2Q	24,325,462株	29年10月期2Q	24,325,462株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 30年10月期2Qにおける期末自己株式数には、「株式給付信託 (BBT)」に係る信託財産として「資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)」が保有する当社株式 (30年10月期2Q 71,100株、29年10月期71,100株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかに回復しました。アジア地域では、中国経済は景気の持ち直しの動きが続き、その他の地域では景気は回復傾向となりました。米国経済は、個人消費や設備投資が増加したことなどから、景気は着実に回復が続きました。欧州経済は、設備投資の増加などを背景に、景気は緩やかに回復しました。日本経済は、設備投資が緩やかに増加し、個人消費の持ち直しが見られたことなどから、景気は緩やかに回復しました。

当社グループの光事業の関連市場では、デジタルカメラはコンパクトタイプの需要減少が続いたものの、レンズ交換式タイプではミラーレスタイプの需要が増加しました。一方、エレクトロニクス事業の関連市場では、露光装置はFPD向けの一部で弱めの動きが見られたものの、半導体向けの設備投資は拡大しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、極低膨張ガラスセラミックスの需要が減少したものの、光学機器用レンズ材の需要が増加したほか、耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム<sup>TM</sup>」の販売が進展したことなどから、13,077百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

損益面では、売上総利益は、原料価格の上昇や業務委託費用の増加が見られたものの、生産性の改善に努めたことなどから、4,282百万円（同39.0%増）となりました。販売費及び一般管理費は、環境対策引当金を計上したことなどにより、2,950百万円（同9.2%増）となり、営業利益は1,331百万円（同250.8%増）となりました。経常利益は、営業外収益として持分法による投資利益を計上したことなどにより、1,475百万円（同124.9%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、業績回復に伴い、繰延税金資産を見直したことなどにより、1,438百万円（同188.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 光事業

当事業の売上高は、新製品やレンズ加工品の販売に努めたことから、8,342百万円（前年同期比14.4%増）となりました。損益面では、これらの販売が増加する中、生産性の改善に努めたことから、営業利益は647百万円（同327.1%増）となりました。

#### ② エレクトロニクス事業

当事業の売上高は、FPD露光装置や宇宙・天文向け極低膨張ガラスセラミックスの販売が減少したものの、半導体露光装置向け高均質ガラスの販売が増加したほか、耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム<sup>TM</sup>」の販売が進展したことなどから、4,735百万円（前年同期比13.0%増）となりました。損益面では、製品構成が変化する中、生産性の改善に努めたことなどから、営業利益は684百万円（同200.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は56,746百万円(前連結会計年度末比4.2%増)となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価により増加したことや、たな卸資産が増加したことなどによるものであります。

流動資産の残高は29,605百万円(同2.4%増)となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少した一方で、現金及び預金やたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

固定資産の残高は27,141百万円(同6.3%増)となりました。これは、有形固定資産において、建設仮勘定が増加したほか、投資その他の資産において、投資有価証券が時価評価により増加したことなどが主な要因であります。

流動負債の残高は7,702百万円(同7.3%増)となりました。これは、短期借入金が増加した一方で、固定負債からの振替によりリース債務が増加したことなどが主な要因であります。

固定負債の残高は5,653百万円(同6.6%減)となりました。これは、繰延税金負債が増加した一方で、リース債務や長期借入金が増加したことなどが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は43,390百万円(同5.3%増)となりました。これは、その他有価証券評価差額金が増加したことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の状況を踏まえ、平成29年12月14日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,715,436	10,926,701
受取手形及び売掛金	6,207,260	5,713,553
電子記録債権	1,496,201	1,633,254
有価証券	—	100,000
商品及び製品	2,108,760	2,249,470
仕掛品	5,457,427	5,640,998
原材料及び貯蔵品	2,249,523	2,451,608
繰延税金資産	336,817	619,593
その他	393,298	332,792
貸倒引当金	△65,675	△62,966
流動資産合計	28,899,051	29,605,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,300,392	13,447,232
減価償却累計額	△7,619,992	△7,859,640
建物及び構築物(純額)	5,680,399	5,587,592
機械装置及び運搬具	17,357,384	17,497,628
減価償却累計額	△13,642,833	△13,980,179
機械装置及び運搬具(純額)	3,714,551	3,517,449
工具、器具及び備品	11,120,695	11,143,240
減価償却累計額	△2,538,533	△2,568,719
工具、器具及び備品(純額)	8,582,162	8,574,520
土地	320,659	320,865
建設仮勘定	300,261	363,095
有形固定資産合計	18,598,034	18,363,523
無形固定資産	88,033	82,468
投資その他の資産		
投資有価証券	5,987,352	7,831,285
長期貸付金	275,000	275,000
退職給付に係る資産	124,398	120,474
繰延税金資産	132,496	124,551
その他	329,347	344,475
投資その他の資産合計	6,848,594	8,695,786
固定資産合計	25,534,662	27,141,778
資産合計	54,433,713	56,746,783

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,179,188	1,140,838
電子記録債務	780,118	682,429
短期借入金	2,697,479	2,501,526
リース債務	173,382	822,194
未払法人税等	174,633	323,195
賞与引当金	708,733	633,313
役員賞与引当金	99,205	48,749
環境対策引当金	18,500	59,875
未払金	1,014,327	990,300
その他	331,591	499,983
流動負債合計	7,177,159	7,702,405
固定負債		
長期借入金	1,846,236	1,629,122
リース債務	785,822	60,217
繰延税金負債	1,742,141	2,261,945
退職給付に係る負債	1,263,355	1,283,313
役員株式給付引当金	25,195	31,494
環境対策引当金	27,481	27,481
資産除去債務	100,618	100,759
その他	260,800	259,500
固定負債合計	6,051,652	5,653,835
負債合計	13,228,812	13,356,240
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,930,785	7,930,785
利益剰余金	25,741,171	26,692,074
自己株式	△1,488,935	△1,488,935
株主資本合計	38,038,021	38,988,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,648,140	3,932,404
繰延ヘッジ損益	—	1,004
為替換算調整勘定	1,175,498	1,087,346
退職給付に係る調整累計額	△656,758	△619,136
その他の包括利益累計額合計	3,166,880	4,401,619
純資産合計	41,204,901	43,390,543
負債純資産合計	54,433,713	56,746,783

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
売上高	11,483,009	13,077,877
売上原価	8,401,664	8,795,328
売上総利益	3,081,345	4,282,548
販売費及び一般管理費	2,701,694	2,950,740
営業利益	379,650	1,331,807
営業外収益		
受取利息	20,138	24,377
受取配当金	68,838	99,594
受取地代家賃	4,978	4,900
為替差益	140,410	—
持分法による投資利益	—	19,615
その他	96,692	60,914
営業外収益合計	331,059	209,401
営業外費用		
支払利息	16,115	13,519
為替差損	—	48,910
持分法による投資損失	35,395	—
その他	3,240	3,272
営業外費用合計	54,751	65,701
経常利益	655,959	1,475,507
特別利益		
子会社清算益	9,299	—
特別利益合計	9,299	—
税金等調整前四半期純利益	665,258	1,475,507
法人税等	166,629	36,673
四半期純利益	498,628	1,438,834
親会社株主に帰属する四半期純利益	498,628	1,438,834



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
四半期純利益	498,628	1,438,834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	471,550	1,284,264
繰延ヘッジ損益	—	1,004
為替換算調整勘定	1,040,901	△84,389
退職給付に係る調整額	36,037	37,622
持分法適用会社に対する持分相当額	98,454	△3,762
その他の包括利益合計	1,646,944	1,234,738
四半期包括利益	2,145,573	2,673,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,145,573	2,673,573

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	665,258	1,475,507
減価償却費	776,785	758,725
持分法による投資損益(△は益)	35,395	△19,615
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	1,870	2,325
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	31,128	20,172
長期未払金の増減額(△は減少)	△5,109	△1,300
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	6,298	6,298
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,706	△50,389
賞与引当金の増減額(△は減少)	△83,007	△72,759
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,771	△4,910
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	41,375
資産除去債務の増減額(△は減少)	23,894	141
受取利息及び受取配当金	△88,977	△123,972
支払利息	16,115	13,519
為替差損益(△は益)	△104,169	15,019
子会社清算損益(△は益)	△9,299	—
固定資産除却損	2,591	2,552
固定資産売却損益(△は益)	△427	△7,354
投資有価証券売却損益(△は益)	△432	—
売上債権の増減額(△は増加)	△635,377	325,415
たな卸資産の増減額(△は増加)	△219,917	△500,551
仕入債務の増減額(△は減少)	127,227	△99,121
その他	217,062	123,344
小計	754,975	1,904,423
利息及び配当金の受取額	85,675	121,034
利息の支払額	△17,994	△13,046
法人税等の支払額	△161,792	△230,618
営業活動によるキャッシュ・フロー	660,864	1,781,792
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△852,182	△578,750
定期預金の払戻による収入	666,648	792,423
有価証券の取得による支出	—	△100,000
投資有価証券の売却による収入	32,680	—
有形固定資産の取得による支出	△559,149	△397,589
有形固定資産の売却による収入	611	9,470
無形固定資産の取得による支出	△11,023	△4,812
子会社の清算による収入	9,299	—
その他	△15,281	△19,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△728,396	△299,112

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400,000	△200,000
長期借入れによる収入	1,700,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,633,302	△213,785
割賦債務の返済による支出	△86,579	△89,791
配当金の支払額	△243,405	△486,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△663,286	△990,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	334,899	△60,118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△395,920	432,374
現金及び現金同等物の期首残高	10,632,504	9,982,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,236,584	10,414,761

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	7,292,946	4,190,063	11,483,009
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,292,946	4,190,063	11,483,009
セグメント利益	151,622	228,028	379,650

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年11月1日 至 平成30年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	8,342,238	4,735,638	13,077,877
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,342,238	4,735,638	13,077,877
セグメント利益	647,530	684,277	1,331,807

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。